

意欲ある経営体を支援する

「あきた型ほ場整備」

「あきた型ほ場整備推進チーム」による総合支援

地域振興局農林部（農村整備課、農林企画課、普及指導課）の横断的組織である「あきた型ほ場整備推進チーム」が、ほ場整備事業の実施・法人設立・新たな農業技術の普及・農業経営などを総合的に支援します。

具体的には、下記のような活動を行います。お気軽にご相談ください。

地域検討会

地域の皆さんが描く”夢プラン”を基に、新たな農業政策を考慮した経営シミュレーションを行います。そして、新たな経営体のもとで、地域の人たちの収入がいくらになり、農作業にどのように関わっていくのかを明らかにし、サポートしていきます。

事例研修、意見交換会

モデル事例の研修会、有識者・実践者を交えた意見交換会などを開催します。

新技術の実証

転作作物の高収量・高品質が期待される「地下かんがい」や、水稻直播栽培に必須の「高精度均平」の実証に取り組んでいます。

お近くの実証圃を、ご見学ください。

【お問い合わせ先】

秋田県 農林水産部 農地整備課 農地整備班	018 - 860 - 1824
	(あきた型ほ場整備推進チーム事務局)
鹿角地域振興局農林部 農村整備課	0186 - 23 - 2243
北秋田 " "	0186 - 62 - 3900
山本 " "	0185 - 52 - 1231
秋田 " "	018 - 860 - 3390
由利 " "	0184 - 22 - 7554
仙北 " "	0187 - 63 - 6116
平鹿 " "	0182 - 32 - 9509
雄勝 " "	0183 - 73 - 6135

このリーフレットは、「美の国あきたネット」農地整備課・農地整備班のホームページからもダウンロードできます。 <http://www.pref.akita.lg.jp>

農業生産法人への支援

ほ場整備の促進費「法人支援（未来プラン）」により、法人の面的集積率に応じて、事業費の1.0%（集積50%以上）、2.5%（集積70%以上）を支援します。（国+県費）

（計算例）ほ場整備事業：受益面積100ha、事業費1,600百万円の場合

農事組合法人Aファーム45ha（集積45%）・・・0%（支援なし）

+

株式会社Bファーム20ha（累計65% 50%）・・・1.0% 10.4百万円

+

合同会社Cファーム5ha（累計70% 70%）・・・2.5% 28.0百万円

（16,000円/10a）

（40,000円/10a）

集積70ha（70%）で、28百万円 = Aファーム18百万円 + Bファーム8百万円 + Cファーム2百万円となります。ほ場整備事業の負担金や、規模拡大のための設備投資などに活用できます。この制度は、ほ場整備事業の農地集積加速化基盤整備事業（H21～）から適用になります。継続地区で、この事業に移行した地区は、H21年度以降の事業費が該当します。標準的な事業費負担割合は、国費55%、県費27.5%、市町村10%、農家7.5%

また、「面的集積支援（基本プラン）」では、面的集積向上率に応じて、全面積に対し、事業費の2.0%（32百万円、32,000円/10a、向上率15%以上）から段階的に、～5.0%（80百万円、80,000円/10a、向上率65%以上）まで支援します。（国+県費）

農業生産法人は、登記上では下記の2タイプがあります。

農事組合法人（農協法、共同の利益増進を目的）・・・有限責任（出資等の範囲内の責任）

会社法人（会社法、営利を目的）

株式会社、合同会社、有限会社・・・有限責任

合資会社、合名会社・・・無限責任

有限会社については、会社法の施行により新規設立はできません。

法人設立での注意点

法人の経営安定には、作付け計画・資本装備計画・労務管理計画などの計画策定が重要です。農地の生前一括譲与で「贈与税の納税猶予制度」の適用を受けている方が、農業法人へ農地を貸借すると、猶予が打ち切れ、さか上って贈与税が課税されます。法人へ賃借しないで基幹3作業の委託でも、面的集積に計上できますので、必ずチーム員に相談してください。

（贈与税の基礎控除は110万円。相続税の控除は5千万円+1千万円×相続人数。）

経営移譲年金を受給されている方が、法人に「臨時雇用」として従事するのであれば、経営を再開するわけではないので、受給を打ち切られることはありません。

法人経営で、最低限必要となる経費は、法人県民・市町村民税の均等割（県+市町村 71,600～81,600円程度）。及び、所得に対する法人税（国税）と法人税割（県民・市町村民税）。法人の設立登記費用等は、100,000円程度（1回のみ）です。また、確定申告には決算書の添付が求められます。決算書の作成を税理士に頼む場合、ある程度自分で仕訳してから頼めば、高額にはならないようです。

高性能ほ場で、「新たな農業」に挑戦

(1) 「地下かんがい」で、「大豆300A」

「地下かんがい」システムとは、従来の暗渠に補助暗渠を追加し、排水の強化を図るとともに、開花期等の用水が必要なときに、暗渠管を使って用水供給するシステムです。

地下かんがいの導入により、土壌水分のコントロールが可能となり、大豆では、収量300 kg/10a超、Aクラス(1、2等級)の品質を目指します。

秋田県の大豆収量

H11～20年の平均収量は、160 kg/10a

最高210kg/10a(H12)、最低81kg/10a(H16)

地下かんがい実証例

357 kg/10a・・・横手市、国営平鹿平野地区

303 kg/10a・・・山形県

工事費など

通常暗渠排水工事費130,000円/10aに70,000円/10a程度加算されます。県内で実施している実証試験(H22～23年度)の結果と、地区の要望を踏まえ、ほ場整備事業の中で本格実施します。



地下かんがい区域



通常暗渠区域

地下かんがいを導入したほ場(写真上)と通常暗渠のほ場(写真下)では、生育の違いが一目瞭然です。地下かんがいは乾湿の年次変動が少ないため大豆の安定生産に大きく貢献しています。

「新たな水田整備」より

(全国土地改良事業団体連合会発行)

(2) 「高精度均平」で、「直播仕様ほ場」

水稲直播栽培の実施に当たって、「高精度均平」は必須条件です。ほ場の均平不良により、苗立ち数割合が著しく減少します。ほ場内の低い部分は還元等による苗立ち不良、高い部分は雑草繁茂による雑草害を受けやすくなります。

ほ場の均平度と苗立ち割合

((独)北海道農業研究センター調査)

均平度±3.0cmで、苗立ち数割合97.1%

〃 ±5.0cmで、〃 87.1%

〃 ±7.5cmで、〃 70.7%

H22水稲指導指針(秋田県)では±2.5cmで指導。



レーザー均平機による均平作業

高精度均平を支援する「**水土里直播支援事業**(H21～23年度)」

水稲直播栽培に取り組む際に、「簡易整地等の条件整備工事」が必要な農業者等に、10,000円/10aを交付します。希望者は、申請主体の市町村・土地改良区・農協に計画書を提出してください。県が審査・承認し、工事と直播の実績を確認後、申請者経由で交付金を交付します。詳細は、最寄りの振興局農村整備課にお問い合わせください。

新たな農業政策に基づいた、農業経営シミュレーション

ホームページで検索可能です。

1. 損益計算（経営の可否を部門別に検討します。）

水稻（移植）9 ha + **水稻（直播）5 ha** + 大豆6 ha、合計20 ha 経営の場合

損益 計算書		作目別技術・経営指標 P 28参照 (H21.1)	
作目名		水稻（直播）	
		単位：円	
収益		6,235,000	124,700 円/10a
売上高	= × × 10a	4,900,000	98,000 円/10a
作付け面積	ha	5.0	ha (全体20ha)
地区収量	kg/10a	420	kg/10a 7俵/10a、中山間地帯、
収量	= * *10/60 俵	350	俵(60kg) 減減、直播
標準売上げ単価	円/60kg	14,000	円/60kg
助成金等（資産形成のための補助金除く）		1,335,000	26,700 円/10a
米戸別所得補償ETL事業（定額+）		750,000	15,000
水田利活用自給力向上事業、大豆			
経営所得安定対策、大豆(緑+黄ゲタ)			
抛出金（経営安定対策、米需円滑化など）		215,000	4,300
中山間直接支払の作業受託		500,000	10,000
農地・水・環境保全向上対策（営農活動）		300,000	6,000 減農薬減化学肥料
費用		5,865,902	117,318 円/10a
変動費		1,723,400	34,468 円/10a
種苗費	円/10a	73,050	1,461 種もみ
肥料費	円/10a	588,000	11,760 有機肥料
農業薬剤費	円/10a	238,950	4,779 50%、減農薬
諸材料	円/10a	1,900	38
動力光熱費	円/10a	185,900	3,718
土地改良水利費	円/10a	325,000	6,500
・・・	円/10a	・・・	・・・
固定費		4,142,502	82,850 円/10a
給与（主たる従事者）	円	1,100,328	（主たる従事者5,500,000円）
労務費	円	389,316	8,000 円/人
雇用人数	人	48.7	20.0%
（給与+労務費）/10a		29,793	円/10a
修繕費	円	531,470	1,488,115
減価償却費	円	1,121,387	3,139,885
地代	円	1,000,000	2,800,000
当期利益 = 収益 - 費用		369,098	7,382 円/10a
水稻（直播）部門の当期利益			

2. 労働人員（月別にどれだけの雇用が必要か、検討します）

